

「いじめ防止プログラム」指導者用テキスト



目次

はじめに.....	1
「いじめ防止プログラム」指導者用テキスト.....	2
「いじめ防止プログラム」.....	3
ファシリテーターのみなさまへ ...	8
講演会.....	10
ワークショップ①.....	11
ワークショップ②.....	15
ワークショップ③.....	19
ワークショップ④.....	23

*写真の使用に関しては了解を得ております。

はじめに

湘南DVサポートセンターでは、子どもたちに暴力によらない問題解決の方法を身につけさせ、人権侵害の起こりにくい地域社会を作ることを目指しています。

2007（平成19）年1月に、暴力防止プログラムの一環として「いじめ防止プログラム」を開始してから現在まで、東京都と神奈川県の公立小中学校15校で300回以上、本プログラムを実施してきました。

「いじめ防止プログラム」は、生徒自らが主体となり、「スクール・バディ」活動を編成するよう促すものです。「スクール・バディ」とは、生徒同士の主体的な支え合いシステムです。生徒たちが、「映画制作」「演劇」「校内放送のDJ」「新聞・ポスターづくり」など、いじめを未然に防ぐための様々な企画を考え、学校内外に暴力防止を訴えています。

2009（平成21）年9月12日、13日に、第1回いじめ防止「スクール・バディ・サミット」を開催し、各学校の「スクール・バディ」が、日々の活動報告・意見交換を行いました。2010（平成22）年12月4日、5日には、第2回いじめ防止「スクール・バディ・サミット」を開催します。

この度、文部科学省の委託により「社会教育による地域の教育力強化プロジェクト」における実証的共同研究として、本冊子、「いじめ防止プログラム」指導者用テキストを作成し、2011（平成23）年1月から「いじめ防止プログラム」指導者養成講座を開催することになりました。「いじめ防止プログラム」を指導できる人材の養成を目指します。本冊子は、当センターが小学校・中学校で実施している「いじめ防止プログラム」についてまとめたものです。教職員、学校関係者の皆様に、授業の中で活用していただければ幸いです。

暴力防止の輪を広げ、安心できる家庭、学校、地域社会を作るために、今後とも、保護者や先生方、地域の皆様の、一層のご支援ご協力を賜りたくお願い申し上げます。

2010（平成22）年11月1日

特定非営利活動法人 湘南DVサポートセンター
理事長 瀧田 信之

「いじめ防止プログラム」指導者用テキスト

■テキストの目的

「いじめ防止プログラム」指導者用テキスト（以下、テキスト）は、教職員・学校関係者の皆さまに、いじめ予防の授業を行う際の参考にしていただくことを念頭に作成されています。

■テキストの対象

担任・養護教諭等の教職員、スクールカウンセラー等の学校関係者

■テキストを使用するにあたって

テキストは、当センターが中学校で実施している「いじめ防止プログラム」に沿ってまとめられているため、当センターのファシリテーターが指導にあたる設定となっています。教職員・学校関係者の皆様が参考とされる場合は、学校現場に応じてご使用ください。

「いじめ防止プログラム」指導者養成講座

本テキストを使用して、「いじめ防止プログラム」指導者養成講座を開催します。学級運営の参考にしたい。「いじめ防止プログラム」を知りたい。「いじめ防止プログラム」のファシリテーターになりたいという方、ぜひご参加ください。 * 詳細については、当センターにお問い合わせください。

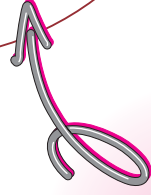
1. 対象：教職員・学校関係者など・子どもの教育に関心のある人
2. 実施回数：全5回（1回3時間）
3. 講座内容：第1回 オリエンテーション（10分）
学校現場での実践（170分）
（信頼し合えるクラスを作ることが、いじめ防止につながる）
- 第2回 「いじめ防止プログラム」、「スクール・バディ」活動について（180分）
- 第3回 被害者、加害者、傍観者の気持ち（90分）
（子どもたちの本音を知っていますか？）
自分も相手も大切にするとってどういうこと？（90分）
- 第4回 子どもに自尊心をもたせるために何ができるか？（90分）
アサーション（90分）
- 第5回 プレゼンテーションの練習（180分）

いじめ防止プログラム



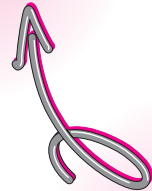
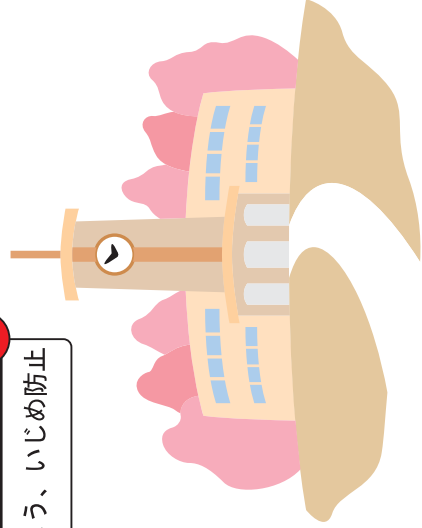
いじめ防止プログラム 「スクール・バディ」活動

School Buddy



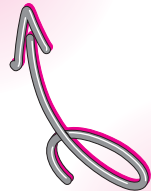
ワークショップ④ 50分

伝えよう、いじめ防止



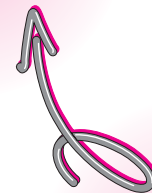
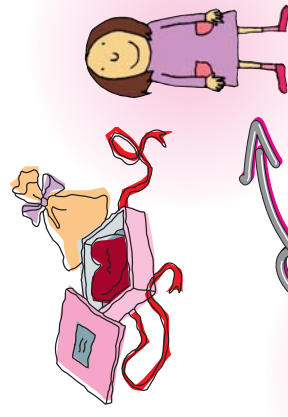
ワークショップ③ 50分

大切な自分



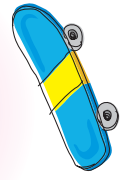
ワークショップ② 50分

加害者の背景



ワークショップ① 50分

いじめは許されない



いじめ防止プログラム

■プログラムの目的

「いじめ防止プログラム」は、小学校、中学校の授業時間（5時間）を使いながら進める、暴力防止プログラムです。本プログラムの目的は、いじめを未然に防ぐことにあります。更に、既にいじめが生じている場合は、いじめがより深刻なものに発展しないように、自分では「ふざけただけ」、「からかっただけ」と思っている行為が、実は相手の心を傷つけていることに気づき、当事者だけではなく、周囲にいる生徒たちがいじめを抑止することを目的としています。

■プログラムの構成

「いじめ防止プログラム」は、生徒が自分自身や他者との人間関係について考え、ワークショップを通して自尊感情を高めることを学び、暴力によらないコミュニケーション方法を身につけられるよう組み立てられています。

ワークショップに先立ち、生徒を対象に講演会を行います。できるだけ多くの教職員、保護者、地域の大人の参観を期待しています。いじめは学校内だけの問題ではないからです。

講演会後は、保護者、地域の方たちと意見交換を行い、ワークショップの進め方を説明し、参観を促します。

ワークショップは講演会后、約1週間経ってから始めます。ワークショップの冒頭では、全員が安心して参加できるよう、生徒と一緒にルール（約束ごと）を作ります。

ワークショップ③からは「スクール・バディ」のパネルを持参し、教壇に置くようにして「スクール・バディ」編成の予告を始めます。ワークショップ④では「スクール・バディ」募集の案内をし、どのような活動か丁寧に説明する時間を設けます。募集期間は1週間程度、応募者は8時間の「スクール・バディ・トレーニング」という研修を受ける必要があること、部活や私用の調整が必要であることも伝えます。



スクール・バディ(School Buddy)活動へ



実施計画（中学校）

テーマ	いじめ防止の輪を広げ、安心できる家庭、学校、地域社会を作る
内容	人権尊重の視点に立ち、いじめを防止するためにどのような行動をとるか一人ひとりが考える
目的	講演会：「いじめ防止プログラム」のオリエンテーション いじめを防止するためには、家庭、学校、地域の協力が必要であり、保護者、教師、地域の大人の行動も重要であるという共通認識をもつ ワークショップ：いじめをなくそうとする意識と行動化する意欲を高める
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・「ふざけただけ」「からかっただけ」と思っている行為が、実は相手の心を傷つけていることに気づく ・被害を受けた時、いじめを見た時、信頼できる人に相談する ・いじめ防止の必要性を理解し、行動を起こす
対象	中学校 1～3年生
参観	保護者、教職員、地域で活動している民生委員、児童指導委員、人権擁護委員、保護司等の大人
回数	講演会：1回（50分） ワークショップ：4回（各50分）
人数	講演会：300人程度 ワークショップ：30人～40人程度のクラス単位向け
指導者	本プログラムの指導は、湘南 DV サポートセンターのファシリテーターが行う
全体計画	<p>講演会：オリエンテーション</p> <p>ワークショップ①：いじめは許されない（いじめの定義、被害者・加害者の気持ち）</p> <p>ワークショップ②：加害者の背景（加害者のイメージ）</p> <p>ワークショップ③：大切な自分（自分自身と向き合う、友だちのことを知る）</p> <p>ワークショップ④：伝えよう、いじめ防止（自分も相手も大切に作る、アサーション）</p> <p>*発表会（学校と相談し、ワークショップで学んだことを文化祭などで発表する機会を作れるとよい）</p>